発行：2026/10/30

法人だより れもん通信 vol.34

LEMON INFORMATION

“なぜそうなのか？”説明できなかった保育現場の身だしなみルール。

今年度策定した、保育者の多様性と専門性を両立する『身だしなみガイドライン』ができるまでのエピソードを全３話でお届けします。

第１話「世の中はカラフルなのに？」

多様性を大切にする法人として、保育者自身の“違い”とどう向き合ってきたのか。保育士のイメージといえば、ジャージにエプロン、黒髪。檸檬会では、「自分が動きやすいからという理由で着用するジャージ・エプロンはやめよう」と、早くから取り組んできましたが、髪色については、何年も昔ながらの表記のままの保育者マニュアルでした。



カラフルのとらえ方が変わってきた？

かつては“髪色が明るい＝やんちゃ”と見られた時代もありました。けれど今は、さまざまな髪色で働く社会人が増え、仕事ぶりや人柄で信頼を得ている人も少なくありません。

“保育者はこうあるべき”という“見方”を理由に、カラフルな個性を表現する機会を持てないとしたら？それは、檸檬会のビジョンである『カラフルな○△□（こせい）が、凹凸（ひずみ）ある世界で躍動する、ソーシャルインクルージョンの実現』に合っているのだろうか、と思うようになったのが、身だしなみを見直す出発点でした。
ただ、保育は子どもの命を預かる仕事です。“何でも自由に”とはいきません。個性を大切にしたい気持ちと、子どもたちや保護者の皆様の安心・安全を守る気持ち。多くの園長がその間で迷っていました。

髪色だけで保育者の人柄や専門性が決まるわけではありません。個性を表現することと、信頼される保育者であること。その両方を大切にできる形を、答えを上から決めず、園長やパートナー（※）と対話しながら探すことにしました。安心・安全を大切にしながら、保育者が自分らしく働ける職場をめざしていく、2025 年春、それらを考える場が始まりました。
（第２話以降、Web サイトにて公開します）

※檸檬会では職員をパートナーと呼んでいます。

副理事長・青木が執筆した実践報告が「OMEP Japan 乳幼児研究ジャーナル」第一巻に掲載されました

株式会社ＦＰパートナーとの共同研究として取り組んだ、幼児期の金融教育プログラムの開発と実践についてまとめたものです。
J-STAGEより掲載ページをダウンロードしてお読みいただけます。

▼実践報告を読む（J-STAGE）
研究論文：遊びを基盤とした幼児期の金融教育プログラムの開発 ―金融教育としてのおみせやさんごっこ―

社会福祉法人 檸檬会
SOCIAL WELFARE CORPORATION LEMONKAI
法人本部
和歌山県紀の川市古和田240
TEL：0736-79-7313
https://global.lemonkai.or.jp
@leimondchildren
@social_inclusion_village

Pick Up

2026年にリニューアルしたWebサイトのご紹介！



ほかの事業サイトも順次、リニューアル中！Web版れもん通信をチェックください。

檸檬会が目指す『なんだろうのその先へ』がわかるサイト、保育・学童事業サイトがリニューアル♪



探究心？ SEL ？ ESD ？身近にないキーワードを、檸檬会の保育研究員や専門家たちのインタビューを通じて知れる『檸檬会の保育デザイン』ページが誕生！



レイモンドマーケット三郷（就労継続支援Ａ型）

地域に親しまれるカフェで働きながら、障がいのある方が自立や一般就労を目指す店舗をオープン

檸檬会ではいくつかの飲食チェーンと福祉とを組み合わせた事業を行っています。

この度、『さかい珈琲 奈良三郷店』にて就労継続支援を始めました。ここは働く場所としてさかい珈琲を運営し、障がいのある方もいっしょに働く就労継続支援事業所です。接客やホール、調理補助や清掃といったお仕事をしていただき、最低賃金以上の給料をお支払いしています。一人ひとりの“働きたい”という気持ちを支援し自立や一般就労をいっしょに目指します。

※2026年4月にオープンした『さかい珈琲 奈良三郷店』は、ゆったりとくつろげる空間とこだわりのコーヒー、パンケーキなどを提供する地域に開かれたカフェです。幅広い世代が集う場として親しまれており、テラス席では、小型犬と一緒にご利用いただけます。

レイモンドマーケット三郷　Webサイトはこちら



写真：店舗外観写真

レイモンドマーケット紀の川（就労継続支援Ａ型）

「全国障害者技能大会“アビリンピック”に出てみたい。」という一言から始まりました。



利用者さん自身から「やってみたい」と相談があり、第24回アビリンピック和歌山2026に参加しました。アビリンピックとは、障がいのある方が技能を競う大会で、これまで仕事の中で身につけてきた技能を活かして挑戦されました。

レイモンドマーケット紀の川からは2名の利用者さんが参加され、喫茶サービス部門でワンツーフィニッシュ。金賞を取られた方がこの12月に、愛知県で開催される第46回全国アビリンピックへの出場が決まっています。

レイモンドマーケット紀の川は、一人ひとりの特性を考慮して、各作業を細分化するなど、多くの方に利用していただけるよう工夫しています。そして楽しくお仕事ができ、日々できることが増えていく喜びを感じられるようになってもらいたい、そんなお店づくりをしています。

レイモンドマーケット紀の川　Webサイトはこちら

Web

Web版「れもん通信」はコーポレートサイトでお読みいただけます。